

## まちづくり座談会（第29回議会報告会 & 第8回意見交換会）報告書

淡路市議会議員 岨下 博史 様

令和8年5月15日

会 場 岩屋公民館

班 長 田尾 成

開催日時	令和8年5月15日（金） 午後6時 ～ 8時
開催会場	岩屋公民館（岩屋事務所1階）
出席議員	田尾 成、岨下博史、土井章史、城下陽一
参加者数	合 計 2人（うち男性 2人、女性 人、その他 人）

### 2026.5.15 第29回議会報告会 要望・質疑・回答

No.	要望・質疑	回答(済)
1	中学生の提案によるスケートパーク（4,700万円）は迅速に予算化された一方、岩屋地区からの旧保育所跡地活用要望は長年無視されており、住民は強い不満と不公平感を抱いている。	意見として承ります。
No.	要望・質疑	回答(済)
2	行政は住民からの提案に非協力的で、約束を反故にすることもあり、住民の地域づくりへの意欲を削いでいる。	意見として承ります。
No.	要望・質疑	回答(済)
3	子ども食堂への予算が数千円と非常に少ないなど、地域のニーズが予算に反映されていない。	意見として承ります。
No.	要望・質疑	回答(済)
4	住民が自主的に公園を管理し市の財政を助けているにもかかわらず、市は人件費高騰などを反映した支援金の増額に応じず、住民の努力を正当に評価していない。	意見として承ります。
No.	要望・質疑	回答(済)
5	市の移住相談窓口は物件紹介が特定の地域に偏っており、市全体の発展を阻害している可能性がある。	意見として承ります。

No.	要望・質疑	回答(済)
6	地域商品券は、日用品を買う店で使えず、高価な寿司屋などでしか利用できない。物価高対策になっていない。また、交通費の値上げは生活を圧迫しており、市民と市外利用者で料金に差をつける「姫路城方式」を導入してほしい。	意見として承ります。
No.	要望・質疑	回答(済)
7	公共交通機関の料金値上げは、通院などで利用する市民の生活を圧迫している。市民と市外利用者で料金に差をつけるべき。	意見として承ります。
No.	要望・質疑	回答(済)
8	移住相談窓口も岩屋地区の物件を紹介せず不公平。	意見として承ります。
No.	要望・質疑	回答(済)
9	民が市の代わりに年間100万円かかっていた公園管理を24万円でやっているのに、市は経費増額に応じようとしめない。住民の努力を見ない。	意見として承ります。
No.	要望・質疑	回答(済)
10	旧駐車場の解体・跡地利用問題。	2026年3月までに解体し更地にする計画だったが、執行部が「杭の撤去の是非を県の技術センターに相談中」としており、遅延している。

※ 「要望・質疑」「回答の済・未」のどちらかに必ず○を付けてください。

### 2026.5.15 第8回意見交換会 意見・回答

No.	意見・要望
1	議員定数を削減し、その財源で議員報酬を引き上げるべき。現状の低い報酬では質の高い人材が集まらず、議員が専業として活動できない。定数を2人減らせば、20年近くカットされたままの議員報酬を元に戻せます。
No.	意見・要望
2	定数削減の議論は、一部の大きな声だけでなく、地域ごとの多様な意見や、議員が減ることへの懸念も踏まえ、慎重に進めるべき。
No.	意見・要望
3	定数を減らした上で、全議員が全ての常任委員会に参加する方式が、議論の深化と情報共有の観点から有効な選択肢。